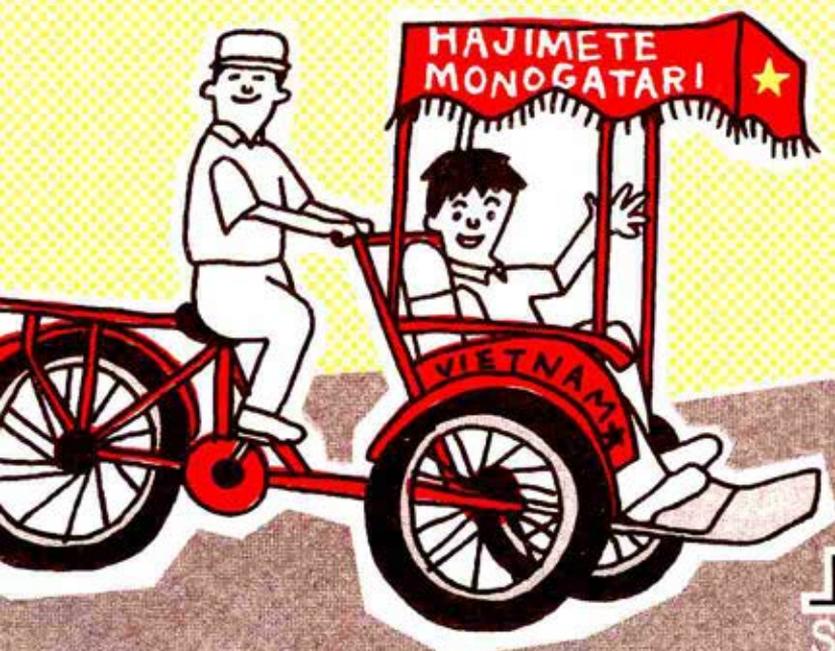


はじめての  
集中講義物語



上村 靖司  
Seiji Kamimura

GIGAKU Press

U  
D  
D  
I  
N  
O  
V  
E  
T

は  
じ  
め  
て  
の  
集  
中  
講  
義  
物  
語



Nagaoka University of Technology

長岡技術科学大学

**GIGAKU Press**

やってみせ、言ってみせ、聞かせて、  
させてみて、ほめてやらねば、  
人は動かじ

山本五十六



もくじ

第1章	プロフィール	04
第2章	学生との出会い	06
第3章	りき・りよく・ちから	11
第4章	内容よりは語彙？	16
第5章	日本の教科書ってナンカイ	20
第6章	ノートとれよ！	24
	カンニングは文化？	30
	エピソード	34
	あとがき	36
付録1	FAQ (よくある質問とその答え)	38
付録2	日本語3級レベルの語彙集	44

## ブローグ

「ベトナムに行つて授業してきてくれないか？」

四月に地方の工科大学に着任してそうそう、ある教授から声をかけられた。

「えっ？ 何語で授業するんですか？」

英語だったら正直ちよつと勘弁して欲しい。

「日本語でいいんだ。向こうで日本語の勉強をしている学生だから、普通に授業してきてくれればいいんだけど……」

「わかりました。日本語でいいんですね」

日本語なら大丈夫。授業にはちよつと自信がある。

大学の先生というのは、えてして授業が下手くそだ。

板書は汚いし喋りは早いし、学生がわかっているかどうかなんてお構いなし。

そのせいで、最近はFD、FD<sup>\*</sup>って念仏のようにあちこちから聞こえてくる。

その点僕は、毎年学生のアンケートでも高評価をもらっている。

板書もまあうまいほうだと思うし、学生のほうを向いてわかりやすく話すこともできる。  
たまには、外国人に教えるのも面白いかも。  
ベトナムなら料理もおいしそうだし。  
ちよつと楽しみになってきた。

★1 F Dとは Faculty Development の略



# 第1章 学生との出会い

「せんせい、おはようございます！」

うわっ！ 教室に入ったら、いきなりみんな起立してあいさつ。

小学校みたい……。でも、ちよつと気持ちいい。

「はい、こんにちは。私は日本からきた長岡です。」

1週間みんなと一緒に勉強します。よろしくお願いします」

相手は、日本語の学習を始めて1年。これぐらいならわかるはず。

みんなニコニコしてこつちを見る。日本だと学生は、授業の始めっから、

完全に「やる気あるの？」みたいな空気だから、それと比べると雲泥の差だ。

途上国の学生たちって意欲が高いとは聞いてたけど、これほどとは。

「私の名前は、長岡技男わざおです。漢字はこうです」

板書しながら説明する。ついでに、大学の名前と、学科の名前も書く。

あれ？ 改めて大学の名前を書いてみると漢字がおおいなあ。学科の名前

も合わせると16文字もある。

「よめますかー？」

「はい、よめまーす」

そっか。ふりがなを振ったんだから読めるはず。でも、「長岡」、「技術」、「科

学」、「大学」、それぞれ知ってるのかな？

ながおが わざお  
長岡 技男

まかいそうぞうこうがくかてい  
機械創造工学課程  
Engineering  
Creative  
Mechanical  
Mechanical Engineering Course

ながおがざじゅつかがくたいがく  
長岡技術科学大学  
Science  
Technology  
Nagaoka University of Technology

「長岡は日本のどこにあるか知ってますか？」

「…」

そりやそーだ。こっちもハノイがベトナムのどこにあるかも知らなかったんだから。

おっ！ あったあった。教室にちゃんと日本地図が貼ってある。

「東京はわかりますか？ 長岡は東京から300kmぐらい北にあります。」

新幹線で約2時間です。地図だと…あ、ここにあります」

みんな、良い子で聞いている。

「せんせー、ながおかはあちゆいですか？」

(あちゆい…ああつ、暑いね)

「長岡は夏は暑いですよ。ハノイよりは暑くないです。」

でも冬になると雪がたくさん降ります。雪はわかりますか？」

なんとなくなぞいっているから、テレビで見たことくらいはあるのかな。

「つぎの、技術と科学はわかりますか？」

「…」

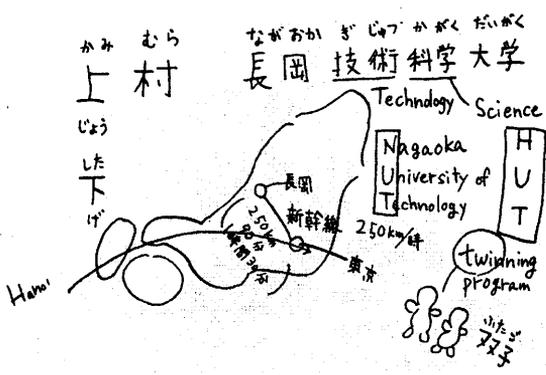
首をかしげている。ベトナム語でなんて言うんだろ。さっぱりわからん。

あつ、英語ならわかるかな。Technology、scienceと下に書き込むと「あー」っ

ていう反応。そうか、英語は使えそうだ。

漢字を書いてふりがなを振って、さらに英単語を書く。はじめての専門授

業でも、単語レベルのコミュニケーションならできそうだ。



さて、次の「機械創造工学課程」は、ちょっと難関だぞ。それでも、同じように英単語を書き込んで解説。ふと思う。英語名って漢字名とちがうじゃん。

留学生ってこの日本人の身勝手なネーミング理解できるのかしら。

とはいえ、彼らも機械工学を勉強しているわけだから、言語は違っても、概念は共通しているだろう。あんまり細かいことは気にしないで進めることにしよう。

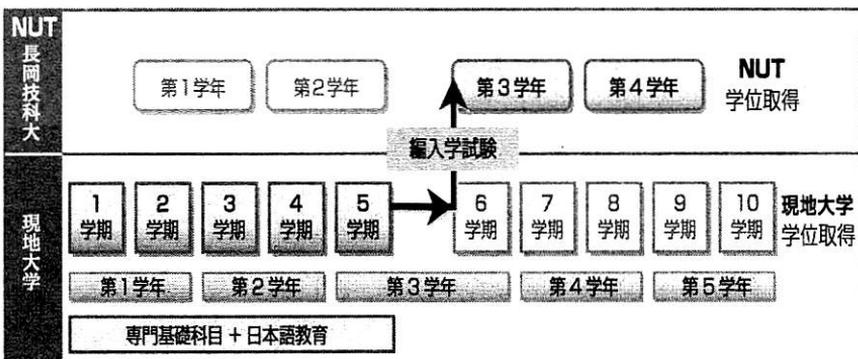
次は：えーと：あつ、ツイニングプログラムの解説もしておかないとね。

ツイニングプログラムというのは何かというと、学部2年の授業が終わるまで、外国の大学で専門科目と日本語を勉強し、その後、編入学試験を受け、合格すれば日本の大学の3年に入學。3年、4年と無事に単位を取れば、日本の大学から卒業証書がもらえる。プログラムによっては、2年生までいた大学の学位ももらえる。二重学位とかダブルデグリーとか呼ばれている。

「みなさんは、ツイニングプログラムのコースにいます。わかりますか？」  
「わかりまーす」

「そうですね。日本語を一生懸命勉強して、試験に合格したら、日本に行きますよ」

通常、日本留学しようと思うと、高校卒業後に1年間日本語学校に通い、そのあと日本の大学の試験を受けて1年生に入學する。そうすると少なくとも日本に5年間は暮らさなくてはならない。物価が何十倍も違う日本への留



学には、大変なお金がかかる。

ツイニングプログラムなら、日本に留学するのが2年間だけになるから、なんととっても安上がりで、そして卒業するときの年齢も日本人学生と同じ。日本語学校経由で留学する学生が学部にいるうちに、ツイニング生なら大学院に行っているか、就職している計算になる。

「日本語ができるエンジニア」の最大のメリットは、製造拠点をアジア諸国に移した日系企業に就職ができることだ。日本の企業はなんといっても給料が良い。企業側から見れば、日本語がわかり日本のものづくり文化についても理解できる現地の人がいれば、現地採用の従業員との橋渡し役になってくれて実に都合がよい。こういう人材がいるかいなかで、現地での経営のやりやすさが全く違ってくる。

「今日から1週間、私と一緒に勉強します。」

日本に行ってから、日本の大学の授業が受けられるように、しっかりと勉強しましょうね」

あれ、こんな話をしているうちに、もう45分が経っている。45分1コマとして4コマ連続で授業。それを月曜から金曜まで5日間続ける。長丁場のようだが、合計15時間でしかない。日本の大学では、90分1コマで15週だから合計22・5時間。こんな悠長なペースで授業をやったら、絶対に一通りの内容がこなせない。どうしよう…。



## エンジニア心得帖

- 一、人間として立派であること。このためにはたえず良心に磨きをかけていなければならない。
- 一、「独創」と「奉仕」を常に心掛けねばならない。
- 一、プロ意識に徹すること。(…) 社会に出てからはむしろ独創力、集中力、統率力などが優先する場合が多い。
- 一、経済感覚を十分に磨いておくこと。
- 一、多段脱皮型人間であるように心掛けておくこと。
- 一、「信用第一」と心得ねばならない。
- 一、隣人愛と不撓不屈の精神が必要である。
- 一、誇りと責任をもとう。
- 一、常に *alternative* を考えるように心がけよう。

川上正光(長岡技術科学大学初代学長)「工学と独創」より。 \*表現を一部改めて掲載

## 第2章 りき・りよく・ちから

5分間のトイレ休憩終了。いよいよ本格的に授業開始だ。

私の受け持つ科目は「工業力学」。機械工学のなかでは基本中の基本。大学1年で学ぶ物理学を実際の機械に応用したような感じの勉強。普通に物理学を学んだことがあれば難しくはないはず。

「工業力学の勉強をします。力学では、力の勉強をします。力学には静力学と動力学があります」

あれ、自分で言っていて気がついたけど、「力」という漢字は、単体だと「チカラ」だけど、チカラの学問になると「リキ」学だ。重力とか反力とか動力とか単語の最後に使うときは「リヨク」。

なんとなく使っていたけど、「力」という単純な文字一つとっても、これだけ読み方が変化するのだから、学習者にとってはわかりにくだらうなあ…。

「静力学の『静』の字は、他にはどう読みますか？」

「しずか、でーす」

「では動力学の『動』の字は、どうですか？」

「うごく、でーす」

「そうですね。静力学は、しずかだから、うごかない力学、動力学はうごくだから、運動の力学ですね」

<p>こうぎょう 工業 industry</p> <p>りきがく 力学 力学</p> <p>せいきり 静力学 Statics</p> <p>どうりき 動力学 kinetics</p>	<p>ベクトル vector</p> <p>ベクトルの合成 <math>\vec{a} + \vec{b} = \vec{c}</math></p> <p>ベクトルの分解 <math>\vec{a} \cdot \vec{b} =  \vec{a}   \vec{b}  \cos \theta</math> <math>= a_x b_x + a_y b_y + a_z b_z</math></p>	<p>ちから 力</p> <p>りき 力学</p> <p>りよく 力学</p> <p>ちから 重力</p> <p>ちから 質量 mass</p> <p>ちから 速度 acceleration</p> <p>ちから 角度 angle</p> <p>ちから 影 shadow</p> <p>ちから 光 light</p> <p>ちから 合成分解</p>
---	---	--

そうだ。はじめて聞く単語を、一度言われただけで覚えられないはずはない。  
 ホワイトボードの右端に書いていこう。

「今日は最初なので、工業力学で使う基本的な数学の勉強をします」  
 と、用意しておいた簡単なプリントに沿って、ベクトル、微分・積分、三  
 角関数の復習をしていく。ベトナムの学生にとれぐらい基礎知識があるか、  
 確かめておきたいということもある。

ベクトルの足し算、内積、やさしい関数の微分、積分、一つずつ問題を解  
 かせてみる。

結構できる。いまどきの日本人学生よりできるんじゃないかな。なかなか  
 有望だぞ。

そんなことを続けているうちに、ホワイトボードの右側の用語集が増えて  
 きた。

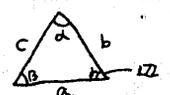
意外と、短時間の授業でも用語ってたくさん出てくるものなんだなあ。し  
 かも、「微分」の微とか、難しい漢字だよなあ。

2時限目は、数学のプリントの問題を一通りやって終了。さあ、いよいよ  
 3時限目は力学だ。

「さあ、今度はこの問題を解いてみましょう」  
 教科書の演習問題の全文を板書する。

「質量500グラムの物体に働く重力の大きさはいくらか？」

さんかくけいさん  $\triangle ABC$



正弦定理  $\frac{\sin A}{a} = \frac{\sin B}{b} = \frac{\sin C}{c}$

余弦定理  $a^2 = b^2 + c^2 - 2bc \cos A$

微分  $(x^2)' = 2x$

積分  $\int x dx = \frac{1}{2}x^2 + C$

微分積分  $\int x dx$

力  $F$  ちから

学  $ガク$

重  $シユウ$

加速度  $アセレーション$

質量  $マッス$

角度  $アングル$

影  $シャドウ$

光  $ライト$



る学生たちを見ると、なんだか素直でかわいい。

「はい、上手に読めるようになりました。次の問題にいきましょう」

「鉛直方向に働く250ニュートンの力を、水平方向の力と、鉛直方向から20°の方向の力に分解しなさい」

さっきと同じ要領で、読めない用語をたずねながら、用語の解説を進める。

「鉛直方向と水平方向、わかりますか？」

考えてみると、なんで真下の方向が「鉛直」なんだろう。なんで鉛なまりなんだろう。水平ってなんで「水」なんだろう。

あ、そうか。きつとこういうことだ。

系に、鉛のおもり（おもりといえば鉛だ）をつり下げれば、その方向が鉛直方向。ホースに水を入れて、2つの水面を結んで線を引けば水平方向になる。

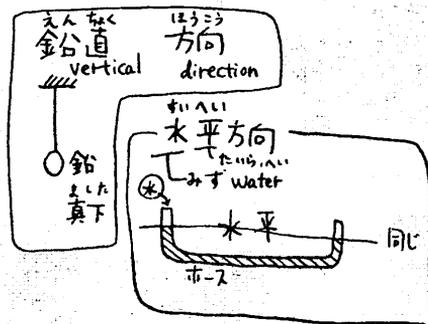
どっちも土木とか建築の分野では当たり前に使われている基本技。言葉って、やっぱり意味があるんだなあ。

鉛の解説をしようと思ったら、これがまた説明しにくい。

「金属の一種で、鉄よりは柔らかくて…」

説明すればするほど、金属とか鉄とか新しい言葉が出てきて、ますますわからなくなる。うーん。どうしよう。

あ、記号！ 鉛はたしか「Pb」だ。Pbと板書したら、ひとしきりベトナム語が飛び交って、みんなが納得した様子。誰か気の利いた学生が、ベトナム



鉛直方向 vertical direction  
 鉛 真下  
 金属 metal  
 鉄 Iron Fe  
 銅 Copper  
 銀 Silver Ag  
 金 Gold

えんごうなまり Pb  
 むつ おもり 鉛

語で「鉛のことだよ」って伝えてくれたらしい。

そうか。工学とか科学って、式とか記号とか、日本語ではない共通言語があるんだ。

ツィニングプログラムは、法学や他の分野でも広がっているって聞いたことがあるけど、文系はたいへんだろうなあ。理系は、式や図や、記号や英語を書いたりすれば、大概のことは伝えられる。こういうのって世界共通だもね。

気をよくして、ついでに金属もいくつか教えちゃう。

「金の文字は、金属、つまりMetalに使います。だから、金がついていたら、金属だってわかるよね。鉄、鋼、銀、銅、みんな金属でしょ」

おっ、4限目の終わりのチャイムだ。朝7時半からの授業も、今日の分はおわり！

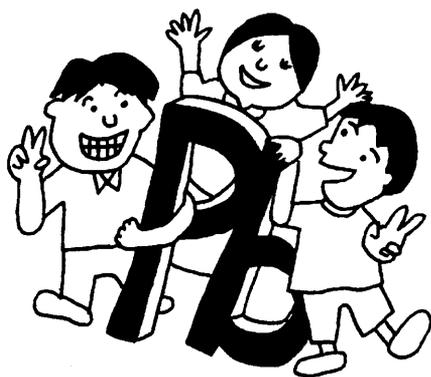
ふーっ。つかれたあ。

「はい、じゃ、今日の授業はここまでで終わりにします」

(学生全員起立して)

「せんせい、ありがとうございました！」

うーん。なかなか気持ちいいぞ。



### 第3章 内容よりは語彙?

初日を終えてわかったこと。「彼らは、力学はかなりわかってる。わからないのはそれを表現する言葉」ということだ。

方針変更。言葉を教えよう。

「質量を指しながら…」これはなんですか? 昨日勉強しましたね」

「すいちゅりよう」

「…はい、そうです。シツリヨウですね(汗)」

ベトナム人は、「し」と「つ」の発音が苦手らしい。

「質点は、質量の点です。だから質量はありますが、大きさや形はありません。形がないので、変形もしません」

解説しながら、「ある」、「ない」、「する」、「しない」と埋めていく。

「剛体は、とても固い物体です。剛体に質量はありますか?」

「ありまーす」

「(四角い物体の代わりに教科書を見せながら)大きさ、形はありますか?」

「ありまーす」

「それでは(力をいれて、教科書を曲げるマネをしながら)、変形はしますか?」

「…」

第2章 剛体に働く力

物理	質量	大きさ	形	美形	並進運動	回転運動
質点	ある	ない	ない	しない	する	しない
剛体	ある	ある	ない	しない	する	する
弾性体	ある	ある	する	する	する	する

剛体 rigid body  
質点 mass particle  
弾性体 Elastic body  
変形 deformation  
並進運動 translation  
回転運動 rotation

質点の運動 剛体の運動

「変形は、形が変わることですね。剛体は変形しますか？」  
「しませーん」

順調順調。工業力学では触れないのだけれど、変形する物体、つまり弾性の話もちよっとだけしておく。材料力学の勉強はしているらしく、ふんふん、とうなずいている。

さて、言葉の勉強ばかりじゃ、飽きちゃうね。演習問題しよう。

図を書くと、問題を眺まなくてもわかっちゃうから、図は書かないで問題文だけを板書。

「20 kgの物体を吊った綱を、鉛直と30°の角になるまで引っ張った。このときの綱の張力と水平力の大きさはいくらか」

ちよっと難しいかな。問題じゃなくて言葉が。「ツつたツナ…」って言うにこそ。

「はい、まずは一緒に読んでみましょう。20キログラムの」

「にじゅつきろぐらむの」

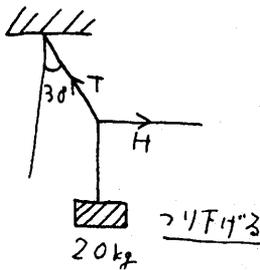
「物体を」

「ぶつたいを」

あれ？「ぶ」の音もなんか日本語とはちよっとちがうような…。

「吊った綱を」

「ちゅつたちゆなを」



20 kgの物体を  
吊った綱を鉛直と  
30°の角になるまで  
引張った。このときの  
綱の張力と水平力の  
大きさはいくらか

「…もう一回。つつたつなを」

「つつたつなを」

「鉛直と」

「えんちよくと」

こんな調子で最後まで一緒に読む。言葉は聞くだけじゃ身につかないもんね。

やっぱり「つ」は苦手。苦手な発音があるのはしょうがないけど、できれば直してあげたい。だからちよつとしつこく繰り返し返す。

最初は区切りを短めにし、2回目は区切りを少し長くして、読む。ついてくる。

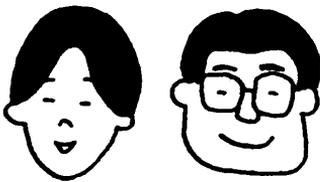
「そしたら…アインくん、読めますか？」

「はい。にーじゅつきろぐらむーのー、ぶつたたいをー、ちゅつたちゆなをー、えんちよくとー…」

なんで、語尾のばすんだろ。6種類の声調を駆使するベトナム人にとって、日本語って単調でかえって難しいんだろなあ。日本人にはなかなか理解できないことですが。

よけないことだけど、名簿見るとみんなアインくん。あ、女子学生でもアインさんがいる。ややこしい。

しかし、声が小さい。みんなで読んでるとき、廊下まで響き渡るくらい大



きな声だったのに、一人だと虫がささやくようだ。シャイなのは日本人以上か？

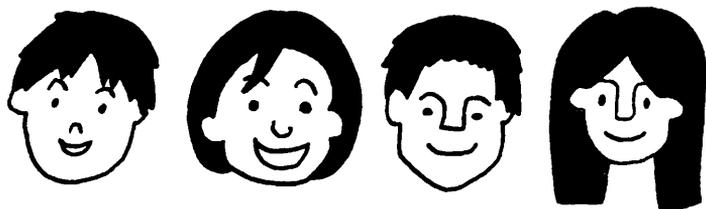
「それでは、図を描きましようね。」

天井があります。ここに綱をつけて、その綱に物体を吊ります。綱の途中を横に引っ張ります。このときの綱の張力は、この力ですね。水平力はこれです。水平、覚えてますか？ 昨日勉強しましたよね」

たくさん新しい言葉がでてきて、ちよつと不安げ。文章から意味を読み取るって、やっぱり難しい。

最近の日本人学生は、4行以上の文章は読めないらしい。ベトナム人学生は、読めないけど読もうと努力してるんだから、まだ**教えがいがある**、そう思うことにしよう。

図を描き終わる頃には、困った顔がわかった顔になる。やっぱり、理系だね。問題は、文章から図が描けるようになるかどうかだ。うーん。これはハードル高いぞ。



## 第4章 日本の教科書ってナンカイ

3日目。慣れてきたけど、ちょっと疲れてきた。だって、毎日7時半から授業。日本なら家を出る時間帯。一番早い授業は6時45分からだっていうんだから、学生も大変だ。

日本の学生は、9時からの授業でも起きられなくて遅刻するのに。

「はい、今日は重心の勉強をします。教科書の第3章、34頁、ズンくん読んでください」

「はい、プツタイをいくつかのちいさい…」

「ぶぶん」

「ブンにわけてかんがえると、そのカクブンに、シツリヨウに…」

「ひれい」

「ヒレイする…」

「じゅうりよく」

「ジュウリヨクが、エンチヨクホウコウに…」

「はたらく」

「ハタラク」

いきなりは無理だった。一言一言、読みを教えてあげなくちゃならない。

ぶつ切りで文章にならない。

「ちよつと難しいね。じゃ、最初にみんなと一緒に読もうね」

「物体をいくつかの小さい部分に分けて考えると、その各部分に質量に比例する重力が鉛直方向に働く。これらの合力の作用する点Gは、物体の姿勢をいろいろ変えても、その物体について一定の点で、これを重心という。物体のつりあいや運動を調べるためには、あらかじめその重心の位置を知っておくことが必要である」

つて、第3章の書き出しの段落んだけど、改めて読み直してみると、日本語の教科書って相当難しい。もうちよつとやさしい言い方でできないのかしら。

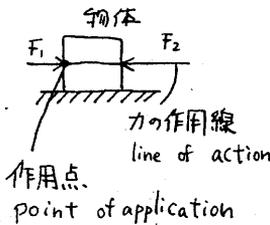
もっと簡単にやさしく言えることを、わざわざ難しく書いているのではって感じがする。やっぱり大学の先生のプライドかしら。それとも職業病？

もちろん、大学に行ったらこれぐらいの文章は読んで理解してもらわなくちゃなんだけど、日本語学習中の外国人には、難解すぎる。

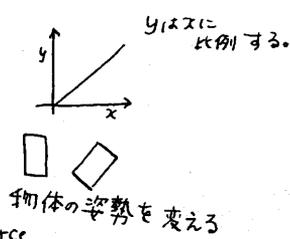
しかもこれ、大学1年か2年でならう専門基礎科目だよ。高学年の専門科目ならともかく、基礎科目ぐらいもう少しプレーンな日本語にならないかしら。

ま、しょうがない。はじめたんだから、一通り解説しておこう。

「部分に分ける」、「○と○が比例する」、「物体の姿勢」、「重心の位置」、それぞれ解説していく。日本人の場合には、漢字がわかるから文字の感じから意味がわかる。



部分 part of  
比例 proportional  
姿勢 attitude  
重心 center of gravity  
中心 center  
重量 gravity force  
weight



外国人ではそうはいかないから、いちいち図を描いて解説。

さっきの文章、もう少しブレーンにならないかな。分解してみる。

●物体をいくつかの小さい部分に分けて考える

●その各部分に質量に比例する重力が鉛直方向に働く

●これらの合力の作用する点G

ここまでが一つの流れだな。たぶんGが重心だ。

●物体の姿勢をいろいろ変えても、その物体について一定の点

これは定義というより性質。

●物体のつりあいや運動を調べるために

●あらかじめその重心の位置を知っておくことが必要

これは、教訓？ そりゃ知ってたほうが良いだろうけど。

「重心って結局何？」っていう問題の答えにはなっていない気がする。例  
えばこんな感じなら、どうだろ。

●「重心とは物体の重さの中心である」

定義としてはこれだけで十分。まずこれを言わなくちゃ。

●「物体を小さい部分に分けて、それぞれに働く重力を考える。各部分に  
働くすべての重力の合力が作用する点が重心となる」

求め方はこういうこと。

●「物体の運動を知るには、重心の位置を知っておくことが必要である」  
物体はつりあわない。物体に働く力はつりあう。だから、つりあいの話は

名文は平易な文

元来文章と事がらとは全く別のものにて、つまらない事をむづかしく書くことができる。大切な事もやさしく書くことができる。難しき字を用うる人は、文章の上手なるにはあらず。内実は下手なるゆえ、ことさらに難しき字を用い、人の目をくらまし、その下手を飾らんとするものなり。(…)  
少年は、必ずその難文に欺かれざるよう用心すべし。

福沢諭吉「文字の教」より

とつちやっついていいだろう。あらかじめ、も余計だ。

ということで、元の文章が146文字。直した文章が101文字。やさしくすると文字数が増えるって言われているけど、結構不要な表現も多いから、ダイエツトすれば、スリムになる。

きつと、プレーンなジャパニーズで書かれた教科書があつたら喜ばれるだろうなあ。

あ、やばい！

こんな空想にふけてる間に、授業ほつたらかし。

ちやんと重心教えなくちや。

「基本的な図形の重心を勉強します。長方形の重心はどこにありますか？」

「……」

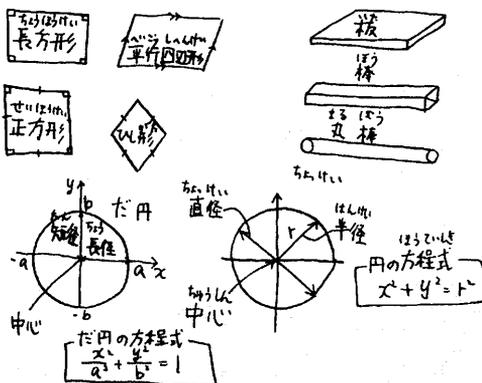
えっ!?

あつ！ 長方形を知らないんだ。いや長方形は知っているけど長方形という言葉を知らないんだ。

そうか。基本図形も教えておかなくちや。

**小学校の算数とか中学校の数学レベルの言葉も知らないのね。そうだよね。**

こういう基本的な内容を、私たちが来る前に日本語の授業の中で教えておいてもらえると助かるんだけどなあ。これじゃ、とてもじゃないが、教科書ぜんぶ終わらない…(涙)。



## 第5章 ノートとれよ!

集中講義4日目。悩みながらも後半戦突入。

単語を覚えてもらおうと作ってきた、「3カ国語専門用語シート」も、だ  
いぶ埋まってきた。

毎日、一日の終了前15分ぐらいを使って、

「はい、今日勉強した言葉を探してください。質量、力、物体…」

「読みも書いてくださいね。英語も板書しましたよ。ノート見れば書いて  
ありますよね…」

って、ノートを見ると全然書いてない。ノート持っていない子も結構いる。

プリントの裏に適当に書いてるだけ。昨日の授業のメモか、そのまへの授業  
のか、いつ勉強した内容か、全くわからなくなっている。

「…あのね、ノートはちゃんと用意してください。ノートにしっかり板書  
を写してください。漢字も丁寧に写してください。難しかったら、ちゃんと  
先生に言ってください」

わかってるのかな。気まずそうな顔をしているから、叱られているのはわ  
かるんだな。

こちらもちよっと甘かった。

…ということがあったのが、昨日。今日はどうか。

一応は、ほとんどの子がノートらしきものを持ってきている。あいかわらず持っていない子もいる。やっぱり、ノート持ってきてと言われなくてもちゃんとノートをとる子は、勉強ができる。問いかけても反応するし、やってねと言ったことは確実にやってくる。

「そうしないと、日本に行っても大変なんだよ」  
のど元まででかかったが、抑えた。いま言うのは止めておこう。

…単語帳も結構埋まったなあ。これだけの言葉、こんな短期間で勉強したんだから大変だ。でも日本に行ったら、もつともつとたくさんの言葉が洪水のように押し寄せてくる。先生方も遠慮無しに、板書無しに、ふりがな無しに、マシンガンのようなスピードで講義する。

がんばって欲しい。いま苦労しておけば、日本でわくわくしながら勉強できるはず。

そうだ、今日はちょっと趣向を変えて、**暗唱させよう。僕らが英文を覚えるときも、名文を暗唱したではないか。**

名文、とはいってもすぐには思い当たらない…。パラパラと教科書をめくって行って…。

あった！

ニュートンの運動法則、これなら定番中の定番。これを日本語で暗唱でき



たら、ちよつといいかも。

「はい、教科書の72頁を開いて。『ニュートンの運動法則』は知っていますか?」

「…はい…」

ちよつと自信なさそうだが、ニュートンはわかるだろうし、英語表記もある。運動も知っているし、教科書を見れば  $F = ma$  だって式も目に入ってくる。わからないはずはない。

4日目ともなれば、日本語で授業を受けるのにも慣れてきているしね。

「これを覚えてもらいます」

「…」

何を言われているのかよくわからなくて、キョトンとしている。

「せんせー、覚えますか?」

「はい」

「ぜんぶですか?」

「はい」

「ええええー!!」

「でも、一度にぜんぶは無理ですから、一つずつ覚えましょう」

理系の文章は、良く言えば論理的、悪く言えば理屈っぽい。学術的に厳密であるように、言い方が回りくどい。何度か読まないと意味が頭に入ってこ

ニュートンの運動法則

**第1法則** 物体に力が作用

しなければ、物体はいつまでも  
静止の状態を保つか、または  
等速直線運動を続ける。

**第2法則** 物体に力が働く

ときは、その方向に力の大きさに  
比例した加速度を生じる。

**第3法則** 2つの物体間に働

く力は、同一の作用線上にあって、  
大きさが等しく、向きが  
反対である。

ない。

でもそういうものだから、慣れておいて欲しい、という気持ちもある。

「さあ、難しい言葉はありますか？」

「ありま—す」

「どれですか」

おなじみの掛け合い。お互いに慣れてきた。「静止の状態」、「保つ」など、はじめて出てきた言葉を解説。あとはいつもの調子で短く区切りながら一緒に読む。

「さあ、これから覚えてください。一つ覚えたら、私の所に来て、教科書を見ないで話す。全員、少なくとも一つは覚えてください」

ぶつぶつと、唱えながら全員が覚え出す。

「ぶつたいに—」

「ぶつたいに—」

ぶつたい、ぶつたいって、教室中が物体だらけ。

10分経過。

「せんせーおぼえましたー」

「どうぞ」

「ぶつたいに—ちーからがー、さようしなければ—あれ？」

「だめー、はいもう一回」

こんな調子で、一人ずつチャレンジ。何度かのチャレンジで一人また一人とOKが出ていく。

45分間で大体3分の2が課題クリア。出来の良い子は、2つクリアして、3つ目に突入。

あれ、いつも勉強のすごくできる彼が、いつまでたつても来ない。どうしたんだろ。

「どうかしたの?」

「…せんせー、できました」

「はい、どうぞ。第何法則を覚えましたか?」

「ぜんぶです」

「…」

なんと、全文一発クリア。やるなあ。

そうこうしているうちに、4日目も終了。

暗唱も面白かった。みんな真剣に覚えてたし。

意味がわからなくても、頭のとこかにフレーズが残っていれば、いつかきつと役に立つだろう。

「明日は、最後です。試験をしますから、しっかり勉強してきてくださいね」

「えー…」

「せんせー 問題はむずかしいですか?」

「いえ、簡単ですよ。勉強してきたこと、ノートをしっかり見て、もう一



回練習してくださいね」

あとで日本語の先生に聞いたら、集中講義が終わった後でも、学生が嬉しそうに、ニュートンの運動法則を暗唱していたって。日本語の先生は、何言ってるのかさっぱりわからないだろうけど。  
ちよっと嬉しいニュースでした。



## 第6章 カンニングは文化？

ベトナムには、日本以上に助け合いの精神が根づいている。たとえそれが試験中であつてもだ。

最終日、試験を出す。内容は、式の読み方、漢字の読み方、虫食い文章に用語の穴埋め、せつかく覚えたニュートンの運動法則の穴埋め、そして純粹に工業力学の問題。

一通りやった内容だからできるよね。漢字書かせるのはちょっと大変だろうと思つて、書かせる問題はあきらめた。読みぐらいはなんとか覚えていて欲しいなあ。

「はい、はじめ！」

試験開始。いつものように、巡回しながら出来具合を確認。

あれ？ なんかおかしいぞ。

あつ！

「そこ！ キョロキョロしない！ 人の答えは見ちゃダメです」

挙動不審な奴がいっぱい。

わざわざ互い違いに座つて、後ろから見えるように答案をずらしたり、わざとらしく消しゴムの貸し借りをしている。むむむむ。

ちよつとお説教しておこう。

「人の答案用紙を見たり、教えあつたりしてはダメです。日本の大学でそれをやると、全てのテストが零点になります。わかりますか？」

「…」

ちよつとだけ神妙な顔つきで、また答案用紙にむかう。

それでも、まだゴソゴソと動きが見える。

しようがないから、怪しげな学生をジツとにらみつける。

目が合うと、気まずそうにする。

そうこうしていると、違ふところで、またゴソゴソ。

また、キツとにらむ。これじゃいたちごっこだ…。

予定時間終了。なんだか、何時間分も疲れた。

「うわー。なんじゃこりゃー」

採点してみたら、コピーのような答案が何枚も出てきた。

あれだけ目を光らせていたのに…。

どうやら、わかる子がわからない子に教えてあげること、それは当たり前のことらしい。

でもそんなことしていたら、日本では致命的。

なんとか、これはきつく釘をさしておかなくてはいけない。

幸い、出来のよい子たちは、人とは違ふ答案だった。期待したほどにはできてなかったけど…。



「せんせー、アイスクリーム好きですか？」

「はい、好きですよー」

なんと、学生たちが、集中講義の打ち上げということで、アイスクリームを御馳走してくれるらしい。いい子たちだ。うるうる（涙）。

カンニング事件で、ちよっと「なんだ、こいつらー」って思っていたんだけれど、すっかり機嫌回復。

ちっちゃいけど、おいしいアイスクリームをいくつかもらった。彼らのおこづかいから考えたら、結構大きい出費なんだろうなあ。

ありがとう。



## エピソード

帰国の飛行場に向かう直前。ホテルのロビーにみんな来てくれた。

「せんせー、こんどいつきますか？」

「うーん。わからないなあ」

すごく大変な1週間で、カルチャーショックもあつたけれど、なんか良い経験させてもらった気がする。

日本語学習中の学生ということで、話し方、教え方、すごく気を使ったし、いつもどうやったらいいか、考えさせられた。

疲れたけれど、結構充実。いろいろあつたけど、学生たちは素直でいい子たちだった。一生懸命だった。

日本で日本人に教えていたら絶対に経験できないことをさせてもらった。

「これって、もしかしてFDなんじゃない？」

確かに、教師 (Faculty) として、開発 (Develop) されたんじゃないかしら。高名な先生のありがたい講演会に行くよりも、日本語のできない学生たちのほうが、たくさんこのことを教えてくれたんじゃないかしら。

この経験は、ほかの先生にもして欲しい。

そうしたら、大学の教育はもっとよくなるはずだ。  
もっとちゃんと学生に向き合って授業するようになるはずだ。

これは僕にとって「修行道場」だった気がする。「F  
D道場」だな。

「せんせい、またきてください」

「来年、きつとくるね。しつかり勉強してね」

本来に来年も来よう。だって来年は、彼らの後輩に  
力学を教えなくちゃ。

そのときには、同僚も連れてきて、ほかの科目も教  
えてもらおう。

きつと彼らは、もつともつと日本語が上達していて、  
大学の普通の授業に近い感じでもついてこれるようになって  
いるだろう。

楽しみになってきた。

教師と生徒。教える人と教わる人。

でも、教えながら教わることがこんなにあるなんて。

教育でなく、共に育つ「共育」だ。

深夜便のエコノミー席で、朦朧とした意識でそんなことを考えながら、眠りに落ちた。

(おしまい)



## あとがき

2003年に始まったベトナム・ハノイ工科大学とのツイニングプログラムは、1期生は大学院を修了し、8期生が入学するまでになりました。

大学前半の2年半は、ベトナムで専門科目を勉強しながら日本語も学習。学生にとっては相当にきついプログラムです。日本語教員にとっては、時間の制約もあり、相手が理系学生ですからなかなか大変。私たち専門教員にとっても、日本語後の学習がスムーズになるように、日本語での専門講義も行わなければなりません。

そんなことから、毎年私たち専門教員は現地に赴き1週間ほどの集中講義を行うわけですが、これが一筋縄ではいきません。彼らは間違いなくベトナムのトップエリートであり、みっちり専門教育をうけていますから、基礎学力はあります。でも習った言語はベトナム語。私たちが日本で教えているのは、「専門の内容がわからない日本人」であって、「専門の内容はわかるが日本語能力が不十分な外国人」ではありません。だから、何の心の準備もなしに現地に行く、完全にミスマッチが起きてしまうのです。

思い切って意識を変え、このミスマッチを理解し受け入れてしまえば、基礎学力も学習意欲もある学生への授業はエキサイティングで、教員スピリットが大いに刺激されます。教えてみたら、これまでに私自身4回の集中講義を行ってきました。最初のカルチャーショックに始まり、行きたびに新たな刺激をうけ、この経験から学んだこと、そして外国人に教える楽しさ、これを同僚にも伝えたいと思うようになりました。

昨年から文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム」に採択されたこともあり、集中講義に派遣される教員向けの事前研修を始めました。模擬授業をしていただき、留学生、日本語教員、経験のある教員が受講し、改善点を提案します。実際に集中講義を行ったあとに先生方からは、「事前研修がとても役にたった」と好評をいただいています。

なんとかこのノウハウをまとめて、事前研修テキストを作成したいと考えていたのですが、なかなかマニュアルのイメージがわかりません。ふと思いついて、経験をつづつた「ものがたり」をつくることにしました。そのほうがこれから行かれる先生にとってイメージしやすいだろうと思っただからです。

集中講義に行かれる先生に事前に目を通していただくことを意図して構成し、Q&Aや単語帳も添えました。できることなら、これから集中講義に行かれる先生方に限らず、FDのエッセンスも含んでいますので、広く大勢の方々に手にとっていただければ著者としては至上の喜びです。

末筆ながら拙文の校閲を助けていただいた同僚の松田真希子先生、三上喜貴先生、伊藤義郎先生、ハノイで日本語を教えている相馬森佳奈先生、素敵なイラストを添えた冊子を仕上げてくださったコトモモ社のたけなみゆうこさん、そして目を通して意見いただいたすべての皆さんに感謝いたします。

2010年1月1日

上村 靖司

## 付録1 FAQ (よくある質問とその答え)



**①** 字が上手ではないので、パワーポイントを使って授業をしたいのですが、板書のほうがいいですか？

A1 板書のほうがベターです。パワーポイントの場合、どうしても進みが早くなりますし、ノートを取らせにくくなります。専門科目を教えることが目的ならばそれで良いのですが、専門科目をすでに学習している学生に、専門日本語を教えることが目的ならば、先生が板書して学生にノートに写させる、先生の説明を聞く、そしてそれを一緒に読むという語学修得のためのプロセスが、スムーズです。

字の上手・下手もありますが、丁寧に大きく書くことを心がければ良いと思います。

例えば、パワーポイントで作った資料を板書しても良いでしょう。教育環境が整っていれば、問題をスクリーンに写しながら黒板で解く、という併用方式もあるでしょう。しかし、日本ほど教育環境が整っていないことを考えれば、「基本は板書」と割り切ってください。

**②** 資料は配付したほうがいいですか？ 資料には全部ふりがなをふらなくてはいいいませんか？

A2 無いよりはあったほうが良いです。しかし次の2点に注意してください。

①すべてを与えない。

②資料の意図を明確に。

すべての情報が資料に書いてあったら勉強の必要がありません。授業を聞きながら穴埋めするとか、板書きされない内容の補助教材とするとか、習った用語を記入していくシートとします。また、どのような学習に役立てるのか、意図を意識しておかなくてはなりません。ふりがなも、同じ理由で、すべてふるべきではないでしょう。最初に出てくるところだけふり、それ以降はふらない。

学習者の立場で、資料の用意をお願いします。

### ③

授業の進度は、日本で日本人学生を相手にする場合と同じペースでは無理ですよね。どの程度でしょうか？ どれぐらいを見込んで準備したらいいですか？

A3 2分の1から3分の1とっておいてください。特に最初の1時間、最初の1日は、かなりゆっくり進める覚悟で臨んでください。最初に、その科目で出てくる用語や概念を丁寧に説明しておけば、2日目以降、少しずつペースアップしていくことができます。うまくいけば、4日目にはほぼ違和感なく授業ができるようになっていくでしょう。「やさしいところはじっくりと」でお願いします。

④ 漢字や表現はどれぐらい習っていますか？ 何がわかって何がわからないか、少しでも理解しておいたほうが授業しやすいように思うのですが。

A4 付録2に、「みんなの日本語I」と「みんなの日本語II」で習う語彙集をつけました。初級と言われるレベルの学生は、これぐらいを学んでいます。授業の組み立てのまえに、ざっと目を通しておくだけでも、相当イメージしやすくなると思います。

⑤ 試験は課したほうがいいですか？ 最後に1回でよいのか、小テストを何回もしたほうがいいのかも教えてください。

A5 テストの目的は2つです。1つは成績評価、もう1つは学習・定着のきっかけです。どちらかといえば、後者の目的を重視して、せっかく覚えた言葉が定着するように試験をしてください。そういう意味では、簡単でも良いので毎日小テストすると効果的でしょう。

⑥ 日本で授業するときには小ネタやこぼれ話を入れて、学生の興味を引くように工夫しています。そうしたものを効果的に入れるときの注意はありますか？

A6 ぜひ入れてください。しかし、文化・歴史・宗教観など、基本的に文化的背景が異なることは意識してお

かなくてはなりません。例えば、アインシュタインの話題なら共通性があるでしょうが、豊臣秀吉に仕えた曾呂利新左衛門の話（べき乗学習のこぼれ話）を引き合いに出しても厳しいでしょう。また歴史認識や宗教観など、意見が衝突しかねない話題は避けるほうが良いでしょう。

## ⑦

日本語で説明しても良くわからないようなとき、英語で説明したら通じますか？

A7 専門用語の英語表記は理解できる場合が多いと思います。しかし、通じないからと言って、むやみに英語に頼るのはかえって逆効果です。平均して日本人と英語能力に大きな差はないように思います。それに対して「日本語なまりの英語」で説明されても混乱を増すだけです。カタカナ語ならばカタカナ語として教えてください。通じないならば、日本語の他の表現をさがすほうが効果的な場合が多いでしょう。

## ⑧

宿題は出したほうがいいですか？ 注意すべきことはありますか？

A8 ツイニング学生は、普通の大学生の授業に加えて、日本語の授業を入れていきます。したがって、日本の学生の2倍の学習をしていると思うってください。ですから過剰な宿題を出すことと大きな負担を強いることになりません。とはいえ、語学の定着を目指しているわけですから、適度な宿題を出すことは、好ましいでしょう。家で音読させる、小テストに向けて少し学習させる、といった配慮はしてください。

# ⑨

将来は日本に来て学習するのですから、あまり外国人ということを意識しすぎず、普通に授業したほうが良いのでは？

A9 2年半の前期教育の中で、1年程度の日本語学習をした段階での集中講義と、2年ほど日本語学習をした段階での集中講義では、そのやり方は違ってくると思います。このテキストで書かれた集中講義の対象は前者です。ですから相当丁寧に教えています。それに対して、後者の場合には日本語の学習が進んでいること、半年後に日本に行くことを考えれば、より日本での授業に近いやり方で良いでしょう。とはいっても、日本人と同じレベルで日本語が理解できるわけではありませんから、常に理解度の確認と柔軟な対応が不可欠です。

## 付録2 日本語3級レベルの語彙集

### 【あ】

ああ	明日	網棚	言います	いつか	色々な
挨拶	預かります	アメリカ	以下	一生懸命	インスタントラーメン
アイスクリーム	あそこ	謝ります	いかがですか	一緒に	インターネット
間	遊びます	洗います	医学	いつも	インド
相手	暖かい／温かい	有難う御座います	生かします	以内	インドネシア
会います	頭が良い	(私は車が) 有ります	行きます	田舎	インフルエンザ
(事故に) 遭います	新しい	(発りが) 有ります	イギリス	犬	うーん
青	当たります	ある(ひ)	いくつ	折り	今
青い	あちら	ある(ひと)	いくら	今	今
赤	厚い	歩いて	池	意見	今では
赤い	暑い	歩きます	生け花	石	今でも
赤ちゃん	熱い	アルバイト	意味	いじめます	今にも
上がります	あっち	アルバム	あれ	以上	意味
明るい	集まります	暗証番号	安心します	椅子	妹
秋	集めます	安全	安全な	忙しい	妹さん
開きます	あと	安全な	安全な	急ぎます	嫌な
あきらめます	あなた	案内します	案内します	痛い	いらっしゃい
アクセス	兄	あんな	あんな	致します	いらっしゃいます
開けます	姉	あんなに	あんなに	頂きます	イラン
あげます	あのう	位	位	イタリア	入口
上げます	アパート	いい	いい	一度	要ります
朝ご飯	浴びます	いいえ	いいえ	一度も	入れます
朝後日	危ない	良いです	良いです	一番	(お茶を) 入れます
足	アフリカ	あまり	あまり	一部分	(電源を) 入れます
味	甘い			いつ	色
アジア	あまり				
					色々な
					インスタントラーメン
					インターネット
					インド
					インドネシア
					インフルエンザ
					うーん
					上
					植えます
					伺います
					受付
					(試験を) 受けます
					動かします
					動きます
					後ろ
					(味が) 薄い
					薄い
					嘘
					歌
					歌います
					家
					打ちます
					うちます
					宇宙
					美しい
					馬
					美味しい／巧い／上手い
					うま／うまい
					生まれます

海  
埋め立てます

絵葉書  
絵本

起きます  
置きます

お宅  
落ちます

お姫様  
覚えます

【か】  
カーテン

裏  
売り場

偉い  
選びます

(事故が) 起きます  
お客様

お茶  
お疲れ様でした

お見合い  
お見舞い

カード  
回

売ります  
うるさい

エリーゼのために  
エレベーター

お客様  
奥

おっしゃいます  
夫

お土産  
お目にかかります

海外  
海岸

嬉しい  
売れます

円  
縁起

億  
奥さん

おつり  
お手洗い

重い  
思い出します

階  
海外

上着  
噂します

エンジン  
鉛筆

屋上  
お国

音  
お父さん

重い病氣  
思います

会議  
会議室

うん  
運動します

遠慮なく  
おあがりください

贈り物  
遅れます

弟  
弟さん

重さ  
面白い

外国  
外国人登録証

運動会  
運動します

おいくつ  
美味しい

お元氣ですか  
お子さん

男  
男の子

表  
親子丼

会社  
会社員

絵  
運動します

お祝い  
杜牛座

行きます  
起こします

男の人  
お年玉

お湯  
泳ぎます

会場  
階段

エアコン  
エアメール

多い  
大江健三郎

お先に  
お先にどうぞ

落とします  
一昨日

お風呂  
おります

ガイド  
回答

映画館  
映画

大きい  
大きな

お酒  
伯父／叔父

大人  
大人しい

折れます  
折れます

飼います  
買います

営業中  
英語

多くの  
オーストラリア

押し入れ  
教えます

踊ります  
お腹

お礼  
お腹がいっぱいです

買います  
買います

ええと  
ええ

大勢  
オートバイ

伯父さん／叔父さん  
押します

お腹が空きました  
同じ

終わります  
終わります

かいわ  
返します

駅  
駅員

お母さん  
お母さん

お知りします  
お知りします

お姉さん  
お姉さん

終わります  
終わります

帰って来ます  
帰って来ます

駅  
駅員

おかけなさい  
おかけなさい

お世話になりました  
お世話になりました

お花見  
お花見

音泉  
音泉

変えます  
変えます

枝  
エスカレーター

おかし  
おかし

遅い  
遅い

伯母／叔母さん  
伯母／叔母さん

女の人  
女の人

顔  
顔

江戸時代  
江戸東京博物館

お金  
置き場

遅く  
お大事に

お引き出し  
お引き出し

科学者  
科学者

鏡

係

係員

かかります

(電話が) かかります

(電話が) かかります

鍵

書留

書きます

家具

学生

確認

〜か月

かけます

掛けます

(椅子に) 掛けます

(籠を) かけます

(火に) かけます

(眼鏡を) かけます

傘

飾ります

菓子

火事

貸します

歌手

ガス

ガスサービスマン

ガスレンジ

風

風邪

カセットテープ

教えます

家族

ガソリン

方

(読み) かた

硬い

片仮名

形

片付きます

片付きます

カタログ

勝ちます

課長

月

がっかりします

学校

カット

活動

カップ

カップラーメン

角

かな

家内

(夢が) 叶います

悲しい

悲しい

必ず

かなり

金持ち

彼女

砲

花瓶

歌舞伎

壁

かまいません

紙

噛みます

髪

ガム

亀

カメラ

通います

火曜日

から

辛い

カラオケ

ガラス

体

体に良い

カリフォルニア

借ります

軽い

彼

カレーライス

カレンダール

川

〜側

かわいい

乾きます

変わります

代わりをします

缶

(東京+大阪) 間

関係

韓国

漢字

感謝します

簡単な

缶詰

乾杯

頑張ります

管理人

木

〜機

キー

黄色

キーワード

(電気が) 消えます

機会

機械

さがつきます

気が付きます

聞きます

(先生に) 聞きます

危険な

聞こえます

技術

季節

汽船

規則

北

汚い

きちんと

喫茶店

切手

きつと

切符

危険

昨日

厳しい

気分が良い

気分が悪い

希望

着ます

来ます

君

決めます

気持ちが良い

気持ちが悪い

着物

キャッシュカード

キャンセルします

救急車

休憩します

急行

牛井

急に

牛乳

急用

給料

今日

教育

教会

教師

教室

(料理) 教室

競争します

兄弟

興味

協力します

許可

曲

去年

嫌いな

切ります

(電源を) 切ります

さりん

きれいな

切れます

キロ

きをつけます

禁煙

金額

銀行

銀行員

近所

緊張します

金曜日

具合

グラム

空気

空港

草津

薬

ください

下さいます

果物

口

靴下

組

組み立てます  
 曇り  
 曇ります  
 暗い  
 ぐらい  
 クラシック  
 暮らします  
 クラス  
 グラハム・ベル  
 比べます  
 グラム  
 クリーニング  
 クリスマス  
 グループ  
 車  
 くれませす  
 黒い  
 黒い  
 詳しい  
 君  
 芸  
 警官  
 敬具  
 経験  
 経済  
 警察  
 計算します  
 携帯  
 ケーキ  
 けが  
 今朝  
 景色  
 消しゴム

消します  
 化粧  
 化粧品  
 結構  
 結婚式  
 結婚します  
 月曜日  
 けど  
 煙  
 県  
 原因  
 見学します  
 喧嘩します  
 玄関  
 元気な  
 研究室  
 研究者  
 研究者  
 現金  
 健康  
 源氏物語  
 建築家  
 剣道  
 原爆ドーム  
 原料  
 個  
 後  
 語  
 濃い  
 恋人  
 号  
 公園  
 郊外

合格します  
 豪華な  
 講義  
 航空便  
 高校  
 交差点  
 講師  
 号室  
 工場  
 紅茶  
 交通  
 交番  
 声  
 コース  
 コート  
 コーヒー  
 国際  
 国際  
 国連  
 ご苦勞様  
 ここ  
 午後  
 心  
 心から  
 ごさいます  
 ご主人  
 故障  
 午前  
 ご存知です  
 答え  
 答えます  
 ごちそうさまでした  
 ごちら  
 ごちらこそ

こっち  
 コップ  
 ゴッホ  
 こと  
 今年  
 言葉  
 子ども  
 子ども達  
 子供達  
 子どもの日  
 諺  
 この  
 この間  
 この位  
 この頃  
 この辺  
 ご飯  
 コピーします  
 細かい  
 細かいお金  
 困ります  
 ごみ  
 ごみばこ  
 込みます  
 米  
 ごめんください  
 ご覧になります  
 ゴルフ  
 これ  
 これから  
 これら  
 頃  
 頃

怖い  
 壊れます  
 壊れます  
 紺  
 今月  
 コンサート  
 今週  
 コンテスト  
 今度  
 こんな  
 こんなに  
 今晚  
 コンピューター  
 今夜  
 婚約します  
 【さ】  
 さあ  
 サーカス  
 サービス  
 歳  
 最近  
 最初に  
 サイズ  
 再入国ビザ  
 財布  
 材料  
 サウジアラビア  
 探します  
 魚  
 下がります

先に  
 咲きます  
 昨晚  
 作品  
 作文  
 桜  
 下げます  
 指します  
 (傘を) 差します  
 刺身  
 誘います  
 冊  
 札  
 作家  
 サッカー  
 さっき  
 作曲  
 雑誌  
 砂糖  
 茶道  
 寂しい  
 様  
 寒い  
 (目が) 覚めます  
 覚めます  
 皿  
 再来月  
 再来週  
 再来年  
 サラリーマン  
 猿  
 騒ぎます  
 触ります

さん	参加します	邪魔な	少々お待ち下さい	人口	寿司
残業します	実ほ	シャワー	上手な	信じます	涼しい
賛成	失敗します	シャンブー	上手に	神社	スタート
サンドイッチ	質問します	しゅ	小説	親切な	ぐずつ
残念です	失礼ですが	く中	招待します	親切にします	ずっと
散歩します	失礼ですが	習慣	使用中	新年会	ずっと(おおい)
字	自転車	住所	丈夫な	心配します	すてきですね
時	自動車	ジュース	情報	心配な	素適な
試合	自動販売機	柔道	醤油	新聞	捨てます
幸せな	品物	自由に	将來	新聞社	ステレオ
シートベルト	死にます	収入	ショート	図	ストレス
塩	しばらく	十分な	ジョギング	水泳	素晴らしい
しかし	自分で	週末	食事します	スイス	すばらしさ
仕方がありません	島	修理します	食堂	スイッチ	スピーチ
叱ります	姉妹	授業	食欲	水道	スピード
時間	終います	塾	女性	ずいぶん	スペイン
時間	(音が)します	宿題	シヨパン	吸います	滑ります
式	します	首相	書類	水曜日	スポーツ
試験	(ネクタイを)します	受賞します	知らせます	スーツ	スポーツクラブ
事件	閉まります	主人	調べます	姿	ズボン
事故	事務所	出張します	調べます	スキー	隅
時刻表	閉めます	出張します	知り合います	スキー場	住みます
仕事	じゃ	趣味	知ります	好きな	すみません
支社	じゃ、また明日	順序	資料	(運が)空きます	相談
辞書	シャープペンシル	準備	城	過ぎます	相模
地震	社員	障害	白	すぎやき	座ります
静かな	市役所	紹介します	白い	すく	製
システム	写真	正月	人	少ない	性格
自然	ジャズ	小学校	新幹線	スケジュール	生活
下	社長	賞金	シングル	すこい	世紀
下着	シャツ	使用禁止	信号	少し	成功します
				過こします	政治

成人式 成績 生徒 製品 西洋化します 整理します セーター 世界 世界中 世界的に 背が高い せき 席 石油 設計します 石鹸 絶対 絶対 絶対 セット 説明書 説明書 ぜび 狭い セロテープ 世話をします 千 線 先月 先日 先週 センス 先生

全然 戦争 洗濯機 洗濯します 洗濯物 センチ 栓抜き 全部 全部で 専門 象 騒音 操作 葬式 掃除します そうしましたか そうしましたよ 早退します 相談します そうです そうですか ソース 遠達 速い 台

そのうえ そのままにします 祖父 ソフト 祖母 空 そりゃあ それ それから それで それでも それなら それに それまでに そろそろ そろばん 存じます そんな そんなに

【た】

大学生 大使館 大丈夫な 大切な だいたい たいいてい 大統領 台所 台風 大変な 太陽 タオル 倒れます 高い 高さ 宝くじ たくさん タクシー 宅配便 だけ 確かめます 確か 出します (タミを) 出します (宿題を) 出します (熱を) 出します 助かります 助けます ただいま 只今 正しい 立入禁止

立ちます (時間が) 経ちます たった今 建てます (お茶を) 点てます 建物 例えば 棚 楽しい 楽しみます 頼みます たばこ 多分 食べます 食べ物 卵 偶に 玉葱 だめですか だめな 足りません 誰か 誰でも タンゴ 誕生日 筆筒 ダンス 男性 だんだん 暖房 段目

小さい 小さな チーム 地下 近い 遠い 近く 地下鉄 力 地球 チケット 遅刻します 知識 地図 父 ちっとも 茶色 チャレンジします 茶碗 チャンス ちゃんと 注意します 中学校 中国 中止 注射 駐車違反 駐車場 注文 調査 調子 調子が良い

調子が悪い	調節します	ちょうど	調子が良い	長男	調味料	貯金します	直接	チョコレート	ちよつと	つ	ついて	ツイン	通信販売	使います	疲れます	月	次	月に	次に	(電気が)点きます	着きます	付きます	机	作ります	点けます	付けます	(醤油を)つけます	(丸を)付けます	都合が良い	都合が悪い	伝えます	続きます	
続けます	包みます	勤めます	妻	摘み	詰まらぬ	積みます	冷たい	強い	釣り	連れて行きます	連れて来ます	手	定食	丁寧な	データ	デート	テーブル	テーブル	テーブルコーダー	出掛けます	手紙	着当な	できます	出来ます	出来るだけ	出口	デザイン	ですから	テスト	手帳	手伝います	手に入れます	テニス
手に入ります	では	デパート	手袋	(天字を)出ます	出ます	(お釣りが)出ます	(試合に)出ます	(バスが)出ます	(本が)出ます	でも	寺	点	く点	天気	電気	電気屋	天気予報	転動	電源	電子	電車	電池	天ぷら	電報	電報代	展覧会	電話	電話します	と	ドア	という		
ドイツ	トイレ	どう	どういう	どういたしまして	東京大学	道具	どうして	東照宮	どうぞ	どうぞお元気で	どうぞよろしく	到着します	動物	動物園	どうも	どうやって	登録	遠い	通ります	都会	時	時々	時々	独身	特に	特別な	時計	どこか	どこでも	床屋	所		
ところで	閉じます	図書館	土地	途中で	どちら	どちら様	どちらも	特急	どこ	どこでも	届きます	届けます	隣	どの	どのくらい	飛びます	止まります	泊まります	ドミニカ	止めます	友達	土曜日	ドライブ	ドライブ	ドライブ	捕らえます/捉えます	トラック	ドラマ	鳥	取り替えます	撮ります	取ります	盗ります
(年を)とります	(ビデオに)撮ります	(休みを)取ります	どれ	取れます	泥棒	どんな	井	ナイフ	直します	直ります/直ります	中	長い	長生きします	長さ	なかなか	仲間	仲間	仲良くします	泣きます	無くします	無くします	亡くなります	無くなります	投げます	なざいます	なげ	夏	何	何か	鍋			

名前 波 涙 悩み 習います 並びます 並びます 成ります 鳴ります 慣れます 何階 何回も 何月 何歳 何時 何でも 何日 何番 何分 煮えます 匂い/臭い 辛い 賑やかな 肉 逃げます 西 二次会 日 日記 日光 似ています

にとつて 日本語 煮ます 荷物 入院します 入学します 入管 ニュース 入力します によって 庭 人 人気 人形 脱ぎます 濡れます ネクタイ 猫 わずみ 値段 熱 熱心な 寝ます 眠い 眠ります 年 年々 年齢 の(どうしたの) 脳

ノート ノーベル文学賞 のの代わりに 履きます 載せます 喉 喉が渴きました 登ります 飲みます 飲みます (薬を) 飲みます 飲み物 飲み換えます 乗り場 乗り場 乗り物 歯 業 はあ パーティー はい 杯 倍 ハイキング 拝啓 拝見します 灰皿 歯医者 (大学に) 入ります 入ります (お風呂に) 入ります

【は】

葉書 博士 量ります/測ります 履きます 爆弾 白馬 箱 箱根 運びます はさみ 箸 橋 箸 始まります 初め 初めに 初めまして 始めます 場所 走ります バス 恥ずかしい (席を) 外します バス停 バスポート 外れます パソコン 働き過ぎ パチンコ 発音します はつきり 罰金

バッグ 発見します 発表 発表します パトカー 花 花火 話 話します 離れた 母の日 早い 早い 速い 早く 薔薇 払います 針 針 貼り島 春 晴れます 半 晩 番 番 ハンカチ パン 判子 番号 晩ご飯 ハンサムな 香線

反対 パンチ 半年 犯人 パンフレット 半分 火 日 ピアノ ビール 東 引き出し 引きます 弾きます (風邪を) ひきます 低い 飛行機 ビザ/ウィザ 久しぶり 美術館 美術館 非常口 左 左 左 左 びっくりします びつたり 必要な ビデオ 人 人々 一人で

日にち 暇な 不思議な 袋  
 ひも ふた 双子 部下 普通 普通 病院 病氣 表現 平仮名 開きます ピラミッド 昼 ビル 昼ご飯 昼間 昼休み 広い 拾います 瓶 不便

フアイト ファイル ファックス フィールド 封筒 プール 増えます フォーク 吹きます 服 複雑な 復習します

平和 へえ ベートーベン 下手な ベッド ベット 別の 別々に ベトナム 部屋 減ります 弁 勉強 勉強します 弁護士 返事 弁当 変な 便利な 方 方々 貿易 宝庫 帽子 放送します 忘年会 方法 法律 ポーナス ポーランド ポール ペン 他に

他の 僕 ポケット 保険証 星 欲しい 星占い 保証書 ポスター ポスト 細い ボタン ホッチキス ホテル ほど 覆めます ポランテア 彫ります ホルモン 本 盆踊り 本日休業 本社 本棚 本当 本当に ほんの気持ちです 本屋 翻訳します

【ま】

マーク 枚 毎朝 毎週 毎月 毎日 毎晩 参ります 前 曲がります 負けます 孫 真面目な 交わります ます 不味い 混ぜます また また まだまだです 町 間違い 間違え電話 間違えます 待ちます 真っ白な まっすぐ 祭り まで 窓

まとめます 間に合います 守ります マラソン 丸 丸い 回します 周り 万 漫画 マンション 真ん中 ミーティング 見えます 磨きます 蜜柑 右 ミキサー 短い 短く 水 店 見せてください 見せます 見たいに 道 見つけられます 見つけます 緑 みなさん 港 南 見ます

診ます  
耳  
ミュージカル  
ミュンヘン  
ミリン  
ミルク  
みんな  
みんな  
向かいます  
迎えます  
昔  
昔話  
麦  
向こう  
難しい  
息子  
息子さん  
娘さん  
むだな  
村  
紫式部  
無理な  
無理をします  
目  
目  
目  
目  
迷惑をかけます  
メートル  
めがね  
メキシコ  
目覚まし時計

召し上がります  
珍しい  
メモします  
もう  
もう(いちど)  
申し込み  
申し込み  
申し込み  
申し込み  
申し訳ありません  
もうすぐ  
燃えます  
目的  
木曜日  
もしかしたら  
もしもし  
持ちます  
もちろん  
持って行きます  
持って来ます  
もっと  
戻します  
元の所  
もともと  
戻ります  
者  
物  
紅葉  
もらいます  
問題

薬缶  
焼きます  
野球  
約束  
役に立ちます  
やけど  
焼けます  
夜行バス  
野菜  
易しい  
優しい  
矢印  
安い  
休み  
休み  
(会社を) 休みます  
休みます  
瘦せます  
家賃  
やっこ  
破れます  
山  
山登り  
止めます  
辞めます/止めます  
やります  
軟らかい  
夕方  
優勝します  
郵便局  
昨夜  
有名な  
ユーモア

雪  
雪祭り  
輸出します  
ゆっくり  
ゆっくりします  
指輪  
夢  
酔います  
用意します  
用事  
洋食  
様子  
洋服  
ヨーロッパ  
よく  
横  
汚れます  
汚れます  
予習します  
予定  
予定表  
呼びます  
(パーティーに) 呼びます  
読みます  
予約します  
寄ります  
夜  
弱い

来週  
ライト兄弟  
来年  
楽な  
ラジオ  
ラッシュ  
陸  
離婚します  
理由  
留学します  
留学生  
寮  
量  
利用します  
領収書  
両親  
料理  
旅館  
旅行  
旅行社  
りんご  
留守  
留守番  
冷蔵庫  
冷房  
歴史  
レストラン  
レポート  
恋愛  
連休  
練習します  
連絡します

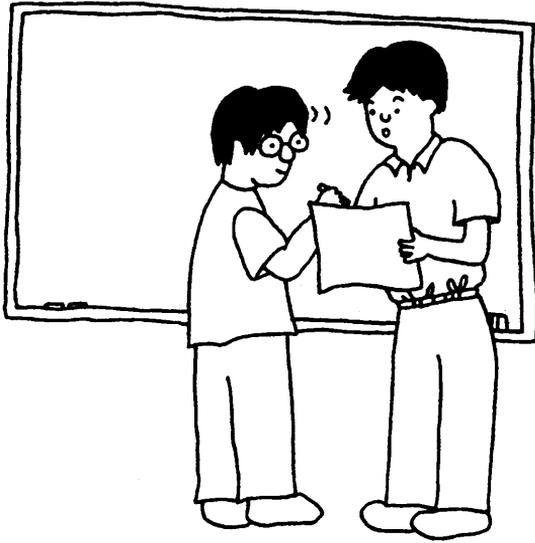
廊下  
ローマ字  
ローン  
ロビー  
ロボット  
論文  
わあ  
ワープロ  
ワイン  
若い  
沸かします  
分かりました  
分かりました  
別れます  
和室  
和食  
忘れます  
忘れ物  
私  
私達  
渡します  
渡ります  
笑います  
悪い  
割れます

【や】

(花) 屋

【さ】

来月



## 著者

上村 靖司 (かみむら せいじ)

1966 年生まれ。

長岡技術科学大学 機械系 准教授。

専門は雪氷工学。

著書に『仕事に役立つ微分・積分』(共著)、『防災辞典』

(分担) などがある。



本書は 2010 年 1 月 6 日、長岡技術科学大学より UD Project の一冊として刊行されたものの復刊です。

## はじめての集中講義物語

---

2014 年 9 月 1 日 初版発行©

著 者 上 村 康 司

発行者 伊 藤 義 郎

発行所 GIGAKU Press

(長岡技術科学大学出版会)

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603-1

長岡技術科学大学内

電話 0258-47-9266

Joho-kiban@jcom.nagaokaut.ac.jp

---

Printted in Japan

ISBN978-4-907996-03-1

質の高い大学教育推進プログラム

## UD に立脚した工学基礎教育の再構築 (UD プロジェクト)

TEL : 0258-47-9238

FAX : 0258-47-9050

E-mail : kokusai@jcom.nagaokaut.ac.jp

詳しい内容、最新情報はウェブサイトで

<http://twinning.nagaokaut.ac.jp/ud/>



Nagaoka University of Technology  
長岡技術科学大学

GIGAKU Press